

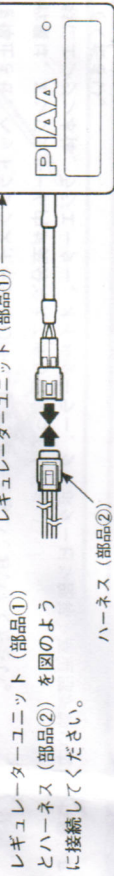
### ▲注意

- ハーネスは、可動部に噛み込まないように配線してください。
- ブレーキ配管及び、エアコン配管等の高圧配管にはハーネスを固定しないでください。
- ハーネスがエグジツ部に当たるとは、市販のクシツンテープ等でハーネスを保護してください。
- リレーハーネスは過熱する恐れがありますので、極端に小さく折りたたんでまとめて固定しないでください。
- 配線完了後、動作を確認してください。

### 取付方法

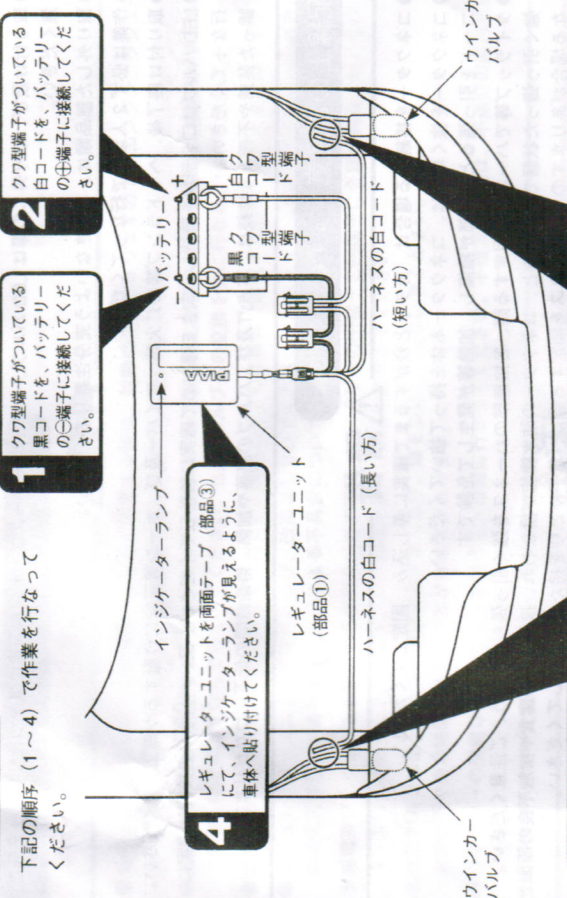
- 本製品は、初めに純正ウインカーバルブの点灯パターンを認識する必要がありますので、LEDバルブへの交換は、必ず順序を守って行ってください。(LEDバルブへの交換を先に行わないでください)

#### [1] ハーネスの接続



#### [2] 車両への接続

下記の順序 (1~4) で作業を行なってください。



#### [3] ウインカーランプの中コードとハーネスの中コードをワンタッチコネクタ (部品④) にて接続してください。

※ペンチでしっかり押さえ、ワンタッチコネクタが確実に閉まったが確認してください。

### ▲注意

- レギュレーターユニットを両面テープにて固定する際は、故障の原因となりますので、エンジン、ラジエーター等エンジンルーム内の高温部に取り付けしないでください。

#### [3] 純正ウインカーバルブの点灯パターンの記憶

フロント側、リア側共、純正バルブを装着した状態でイグニッションキーをONにして、ウインカーを操作させてください。(ウインカーの動作は、左右どちら側から一方で結構です。) ウインカーを点滅させるとインジケータランプが点灯し、読み込みが始まります。読み込み作業が完了するとインジケータランプが消えますので、ウインカーのスイッチを切り、キーを抜いてください。

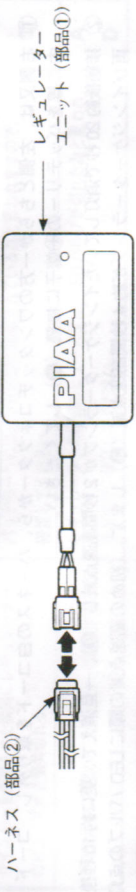
### ▲注意

- インジケータランプが点滅する等、正常に動作しない場合は、後述の「レギュレーターリセット方法」に従って、レギュレーターメモリーをリセットしてください。

#### [4] ハーネスの取り外し

[1] で接続したレギュレーターユニット (部品①) とハーネス (部品②) を一旦に取り外してください。

※ 本作業は、次項 [5] にてLEDバルブを装着した後の極性確認作業でハザード点灯させる際の点灯パターンをレギュレーターユニットが誤って読み込んでしまう事を防ぐ為に必要な作業です。

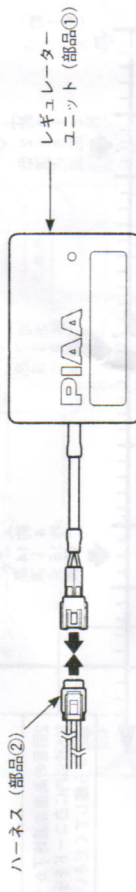


#### [5] LEDバルブの交換

ウインカーランプの純正バルブを取り外し、別売のLEDバルブを装着してください。T16タイプ/T20タイプのLEDバルブには、⊕と⊖の極性がありますので、装着後ハザードにて点灯確認を行なってください。点灯しない場合は、装着する向きを入れ替えて、取り付け直してください。

#### [6] ハーネスの接続

[4] で取り外したレギュレーターユニット (部品①) とハーネス (部品②) を再度接続してください。



#### [7] LEDバルブの点灯パターンの記憶

イグニッションキーをONにして、ウインカーを操作させてください。(ウインカーの動作は、左右どちら側から一方で結構です。) 点灯直後は、ウインカーが高速点滅しますが、数秒で正常動作に戻ります。正常動作を確認したら、ウインカーのスイッチを切り、キーを抜いてください。

#### [8] LEDバルブの動作確認

エンジンをかけてウインカーを右、左、ハザードの順で動作させ、正常に点灯する事を確認してください。作動に問題がなければ、以上で本製品の取り付け作業は終了です。

正常に動作しない場合は、レギュレーター本体を次ページ (P.6) の「レギュレーターリセット方法」の手順に従ってリセットし、取り外したワンタッチコネクタを元に戻して、[3] 純正ウインカーバルブの点灯パターンの記憶から、やり直してください。